

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山平田校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|---|--|----|-----|--|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 法令を遵守したスペースを確保しています。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | | ○ | | 人員を増やす予定です。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | | ○ | | 教室のレイアウトを変える予定です。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | | ○ | | 教室のレイアウトを変える予定です。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | 定期的に職員会議を開いております。 | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | アンケートを実施し、結果をもとに話し合います。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | アンケートを実施し、結果をもとに話し合います。 | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 現在は、利用者・社内の 2 者評価をとっています。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | | ○ | 現在は最低人員で運営している為、積極的な参加が難しいが、内部研修を行ったり、他校舎で開かれる研修に S K Y P E を通し参加することで学びの機会を確保するよう努めている。 | |

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|--|---|--|
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。 | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 全国の「きらり」で共通し利用している「受付シート」を用いてアセスメントを行っております。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 相談支援員事業所の計画も参考にしアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。 | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 朝礼を毎日実施し、職員間での情報共有をおこなっています。 | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | お子さまの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 季節の話題を取り入れたり、体を動かすプログラムやプリント教材などをバランスよく取り入れたりすることで、工夫しています。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 朝礼を毎日実施し、職員間での情報共有をおこなっています。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 個別で支援を行っているが、他の指導員の支援を見学して様子を確認したり、気に | |

| | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|--|
| | | | | なったことや結果については職員間で共有しています。19時終了の支援後は時間がなため、後日に振り返りを行っています。 | |
| | ⑱ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | 毎回指導記録を取り、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。 | |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | 現在は3か月に一回しています。 必要に応じて見直しもします。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | 可能な限り、調整をして児発管と担当指導員が参加できるようにしています。 | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | 利用者の希望等があれば状況に応じて行います。 | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | 利用者の希望等があれば状況に応じて行います。 | |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | 利用者の希望等があれば状況に応じて行います。 | |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | 研修等には参加できるように努力しています。連携については利用者の希望等があ | |

| | | | | | |
|------------|---|--|---|--|------------------------------|
| | | | | れば状況に応じて行います。 | |
| | ⑳ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | ○ | 子育て支援センターと合同でイベントを開きました。 | |
| | ㉑ | (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | できるだけ自立支援協議会へは参加を行っています。 | |
| | ㉒ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | 支援後は保護者とフィードバックする時間を設けています。 | |
| | ㉓ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | 保護者が家庭で行っていることに対する助言をしたり、支援の目的や結果に対する説明を行うことで、家庭での対応や保護者の視点に反映できるようにしています。 | |
| 保護者への説明責任等 | ㉔ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | 契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。 | |
| | ㉕ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。 | |
| | ㉖ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | 相談には可能な限り随時応じるようにしています。 | |
| | ㉗ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 事業所内では保護者会を行う予定等はないが、地域等で行われ |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|
| | | | | | る保護者会等のパンフレットなどを積極的に掲示いたします。 |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 相談には可能な限り随時応じるようになっています。 |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | ホームページで公表しています。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。 |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | お子様・保護者様の状態に応じて、ICTやその他視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。 |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | 地域のイベント情報を掲示したり発信する事で地域貢献に努めています。 |
| 非常時等の対応 | ④⑪ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 月に一回防災訓練を実施しています。 |
| | ④⑫ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 月に一回防災訓練を実施しています。 |
| | ④⑬ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 全てのお子さまについて、しっかりと聞き取りを行い、健康状態や既往歴等について把握をしています。 |
| | ④⑭ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が |

| | | | | | |
|----|--|---|--|---|--|
| | | | | 起こらないよう留意しております。 | |
| ④5 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。 | |
| ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | マニュアルを策定し、内部研修の実施や外部研修への参加を行っています。 | |
| ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | マニュアルを策定し、内部研修の実施や外部研修への参加を行っています。 | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山平田校

保護者等数（児童数）9 回収数 3 割合 33 %

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|---|----|-----------|-----|-------|-----|------------|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 2 | 1 | | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 3 | | | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 2 | 1 | | | | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 2 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 3 | | | | | |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 2 | | | 1 | | |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 2 | 1 | | | | |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 2 | | | | | |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 2 | | | |
| 保護者への説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 3 | | | | | |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 3 | | | | | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 2 | 1 | | | | |

| | | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|---|--|
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 3 | | | | |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 3 | | | | |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | | | 2 | | |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 1 | | | 1 | |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 3 | | | | |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | | 1 | | 1 | |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 2 | | | | |
| 非常時等の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | | 1 | | | |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | | 2 | | | |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 3 | | | | |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 3 | | | | |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。